


武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市核地区土地区画整理事業地内公園整備事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地		
	所管部署	環境 部	環境 課	公園緑地 係 内線 262
	根拠法令等	武蔵村山市都市核地区土地区画整理事業地内の公園等整備方針検討委員会設置要綱 武蔵村山市都市核地区暫定市民広場管理運営要綱		
	目的	公園の利用形態を含めた公園等整備方針を策定するため、公園等整備方針検討委員会（以下「委員会」という。）を庁内に設置し多角的に検討を進める。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	令和4年度から令和7年度までに都市核地区土地区画整理地内（複三丁目及び本町一丁目の一部）に新たに整備される公園5施設及びポケットパーク4施設の施設名、設置遊具等及び開園時期等について、公園づくりに関する市民懇談会の意見などを踏まえながら委員会において検討を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	委員会の開催	回	目標	—	1	3
				実績	—	1	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
事業費（千円）		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
財源内訳	一般財源	0	0	0				
	国都支出金	—	—	—				
	その他	—	—	—				
会計年度任用職員以外の職員（千円）		0	383	770				
人件費	所要人員（人）	0.00	0.05	0.10				
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0				
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）		0	383	770				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年12月15日に第1回委員会を书面開催した。	現時点では都市核地区土地区画整理事業地内に住宅が集積していないため、今後のモノレール延伸や沿線まちづくりなどの進捗を見据えつつ、段階的に公園整備を図る必要がある。 また、区画整理課から環境課へ移管される公園等は暫定的な開園を予定しているが、順次移管されるため、設計委託業者選定等の検討が必要である。

今後の方針																									
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
本事業は、区画整理課で所管する「都市核地区土地区画整理事業」において本町一丁目及び複三丁目に新たに整備された公園やポケットパークについて、委員会を設置し、令和3年度に開催された「公園づくりに関する市民懇談会」での意見なども踏まえ、公園整備方針案を検討するものである。 土地区画整理事業で行う公園の整備は、外柵、植栽までとしているため、委員会において公園利用形態を含めた整備方針の決定とともに、施設名、設置遊具等及び開園時期等について検討していく。 また、今後は、モノレール延伸に伴い市民のニーズや周辺環境が変化していくことから、都市計画課との都市開発等の協議を進めていく必要がある。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		今後の方針			成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																									
成果	コスト																								
	削減	維持	増加																						
向上																									
維持		○																							
低下																									
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	中藤五丁目運動広場防球ネット設置事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地				
	所管部署	環境 部	環境 課	公園緑地 係	内線	262
	根拠法令等	武蔵村山市地域運動場等設置条例				
	目的	防球ネットを設置することにより、施設の適切な維持管理を図る。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	コンクリート柱防球ネットを設置する。 (防球ネットの高さ4m、長さ80.934m)					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				1	防球ネットの設置	—	目標
				実績	—	設置	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 ボール遊び等に伴い運動広場内から近隣の住宅や庭にボールが飛び出すことがあり、市議会議員から防球ネットの設置要望があった。
事業費(千円)		0	3,784	0	
財源内訳	一般財源	-	3,784	-	
	国都支出金	-	0	-	
	その他	-	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	383	0	
	所要人員(人)	0.00	0.05	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		0	4,167	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
児童等の利用の増加に伴い、ボール遊び等で運動広場内から近隣の住宅等にボールが飛び出し、近隣住民に迷惑をかけていたため、防球ネットを設置した。	防球ネット設置工事に伴い、運動広場の利用が1か月程度制限されるため、自治会や近隣住民への周知及び施設内に周知看板を設置して対応した。 運動広場が利用できない期間の周知方法やいかに理解を得ていくかが課題である。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
運動広場は、市民の運動、レクリエーション等の用に供するため設置しており、主に幼児や低学年児童の遊び並びに高齢者の運動の用に供することを目的としている。利用者が安全・安心に利用するためには、ボール等の飛び出しを防止する防球ネットは必要である。 今後は、運動広場をより安全に利用していただくため、危険を及ぼすおそれのある球技等に関する注意や適切な利用などについて看板等での周知を継続していく。	今後の方針 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	野山北・六道山公園（総合運動公園）整備事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地		
	所管部署	都市整備 部	都市計画 課	計画 係 内線 272
	根拠法令等	都市計画法、都市公園法		
目的	野山北・六道山公園（総合運動公園）の未供用区域の整備		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	未買収用地の用地取得に向けた準備を進めるとともに、未整備区域の整備内容等について調査委託を実施し整備を推進する。 用地取得：約1,150㎡（未買収用地） 公園整備等：約1.43ha（未供用区域約1.32haを含む）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	用地取得	—	目標	推進	推進	推進
								実績	未実施	未実施
達成率	—	—								
2	整備内容調査検討	—	目標	調査検討	調査検討	調査検討				
				実績	未実施	未実施				
達成率	—	—								


事業経費	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）	0	0	0		
財源内訳	一般財源	-	-		-
	国都支出金	-	-		-
	その他	-	-		-
会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77		
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01		0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0		0
	所要人員（人）	0.00	0.00		0.00
合計（事業費+人件費）	80	77	77		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度は整備の実績なし。	令和2年度に改定された都市計画公園・緑地の整備方針では、令和11年度までに優先的に事業を進めていく公園として位置付けられており、未買収用地の用地買収及び未整備区域の整備を進めて供用開始を図る必要がある。 また、スポーツ振興課、環境課と連携して公園整備計画について調整する必要がある。

今後の方針																															
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/>	拡充	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	<input type="checkbox"/>	縮小・見直し	<input type="checkbox"/>	廃止・休止・終了																							
	総合運動公園については、憩いとやすらぎの場、健康づくりの場、スポーツ・レクリエーションの場、災害時のオープンスペースの機能を持つ拠点性の高い公園として整備するため、検討を行うものである。																														
	都市計画公園・緑地の整備方針（計画期間：令和2年度～令和11年度）において、重点的に事業化に向けて取り組む公園として位置付けられていることから、庁内関係部署と連携し、整備に向けた調査検討を行う。																														
【今後の方向性】				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
		今後の方針																													
		コスト																													
成果	向上	削減	維持	増加																											
	維持			○																											
	低下																														
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																															

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	都市公園施設改修事業				
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地				
	所管部署	環境 部	環境 課	公園緑地 係	内線	262
	根拠法令等	公園施設長寿命計画 社会資本総合整備計画「東京の防災力を向上させる公園緑地整備（防災・安全）」				
	目的	公園施設内の遊具等は老化、損傷の状態が大きく異なるため、施設老朽化に対する安全対策の強化及び改築、更新費用の平準化を図り計画的に改築、更新を行うことを目的とする。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	平成29年度から令和8年度までの10か年、公園施設長寿命化計画に基づき計画的に都市公園の設備等の整備を実施する（補助対象額3千万円、補助率2分の1）。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	改修工事した都市公園施設の件数	施設
			実績	3	7	
			達成率	100%	100%	
2	遊具等を撤去及び設置した遊具等の件数	個	目標	5	34	0
			実績	5	34	
			達成率	100%	100%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 遊具の老朽化については、安全で安心して市民が利用できるよう維持管理を行っているが、市民からは年代に合った遊具や健康道具を設置してほしいとの意見がある。
事業費（千円）		3,081	32,230	4,291	
財源内訳	一般財源	3,081	17,230	4,291	
	国都支出金	0	15,000	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	399	765	770	
	所要人員（人）	0.05	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		3,480	32,995	5,061	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>年に1回、運動広場等管理点検委託業務において、遊具等の点検を実施し、評価を行い安全、安心な施設管理に努めている。</p> <p>令和4年度は交付金対象遊具等の改修工事として、以下の整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●工事件名：雷塚公園ほか6箇所遊具等改修工事</li> <li>●工期：令和4年10月27日から令和5年3月27日まで</li> </ul>	<p>10年間（平成29年度から令和8年度まで）の計画で改修工事を実施しており、公園施設長寿命化計画における補助金対象遊具の改修整備は順調に進んでいる。補助対象額（3千万円）を満たす遊具の選定が困難であり、各年での工事になっている。</p>

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
成果	<p>本事業は、公園施設長寿命化計画に基づき、当該施設の利用者の安全確保及び利便性の向上のため、遊具等の点検、修繕、補修を実施するものである。</p> <p>都市公園は、子どもの遊び場、レクリエーション活動やコミュニティ活動の場として利用されており、計画的な管理、整備が必要であることから、今後も本事業を継続する。また、公園施設長寿命化計画の施行期間は令和8年度までとしているが、補助金対象遊具の整備が進み、補助対象額（3千万円）を満たす遊具等の選定が困難となっているため、東京都との調整が必要である。</p>																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
	今後の方針		コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	樹林等保全事業		
	施策名称	第5章 地域の特色をいかした自然と調和するまちづくり 第3節 環境 2 公園・緑地		
	所管部署	環境部	環境課	公園緑地係 内線 262
	根拠法令等	武蔵村山市みどりの保護及び育成に関する条例、武蔵村山市みどりの保護及び育成に関する条例施行規則、武蔵村山市みどりの保護及び育成に関する奨励金交付要綱		
	目的	市内のみどりの保護及び育成を図り、もって市民の健康で快適な生活環境を確保することを目的とする。		SDGsの取組 15 陸の豊かさを守ろう
内容	保存樹木等の保護を図るため、その所有者に対し毎年奨励金を交付する。			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	保存樹木の本数	本
			実績	81	76	
			達成率	68%	63%	
2	保存生け垣の延長	m	目標	4,850	4,850	4,013
			実績	4,013	3,928	
			達成率	83%	81%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	1,620	1,575	1,949		-
一般財源	0	0	0		
国都支出金	0	0	0		
その他	1,620	1,575	1,949		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 東京都では、1区、2市（八王子市、青梅市）に制度なし。平成29年度緑化白書からの増減内訳は、増加が14団体、減少が28団体、変化なしが10団体である。
所要人員（人）	0.06	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	2,099	1,958	2,334		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円）	1,575
市補助金	-	-	-	-	使途内訳	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は、奨励金制度を市ホームページ及び市報（4/1号、3/15号）に掲載したことにより、新たに17件の申請があった。 【申請内訳】 ●保存樹木：5本 ●保存樹林（生け垣）：208m	所有者は、毎年奨励金の申請を行い現地確認を受けることや、5年ごとに緑地保護地区の申請が必要となることから、負担軽減が必要である。 また、所有者の高齢化等により保存樹木等の維持管理が困難となるなど、保存樹木等が減少傾向にある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
緑豊かなまちづくりを推進する上で、今後もみどりの保護及び育成が必要であり、本補助金は市民の健康で快適な生活環境に寄進するため、今後も継続していく必要がある。 今後も、現在の所有者への申請事務等の負担軽減や、新規緑地保存地区を増やすため市ホームページや市報に継続的に掲載して周知するなど、新規申請者へのPR活動を実施していく。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）